

諸 行 動・諸会議名 フードバンクかながわ設立記念
開 催 日・実 施 日 2018年3月11日(日) 13:00~15:00
開 催 場 所・実 施 場 所 はまぎんホールヴィアマーレ
参 加 者 亀崎県連執行委員長、山上、萩原

【 内 容 】

はまぎんホールヴィアマーレにて開催された、「フードバンクかながわ設立記念」。運輸労連神奈川からは亀崎県連執行委員長、山上執行委員、萩原執行委員の3名が出席。会場490席は全席埋まり、盛大に設立記念行事が行われた。

公務の都合から黒岩神奈川県知事から挨拶を行い、本日は3.11であること、先ずはご冥福を祈ること、そして震災から日本人は助け合いの精神を改めて学ばされたことに触れ、フードバンクかながわの設立記念の祝辞を述べ、また神奈川県としてもフードバンクを強く指示するとの方針も頂き挨拶を終えた。その後、主催者であるフードバンクかながわ代表理事の柏木会長(連合神奈川会長)からは、「今後の日本は残念ながら貧困層が増えてしまう。それは、税金や社会保障の負担が増え、所得が減少してしまう。貯蓄無し世帯も30パーセント、3軒に1軒が貯蓄できない社会になっている。その様な状況の中で、年間621万トンの賞味期限を過ぎていない食品が捨てられている。これは国民が毎日ご飯茶碗1杯を捨てていることになり、食品ロスが発生している。子供の貧困率も13.9パーセントにのぼっており、7人に1人が貧困で苦しんでいる。フードバンクかながわとしても、なんとかして救いたい。その気持ちを会場の皆さんと共有し、理解を求めたいと思う。地域で行っていたフードバンク活動を再び神奈川の地で盛り上げ、皆さんで支えて頂きたい。」と、挨拶を述べた。

その後、フードバンクかながわ設立の経緯と概要、6団体から各10分間のリレートークを行い、無事に閉幕した。

【力強い挨拶をする柏木会長】



【来賓の皆様】

